

# 令和4年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	北陸地方建設事業推進協議会 令和4年度「建設技術報告会」	事業経緯	継続	実施体制	実行委員会	担当所属	技術調査室
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)		技術開発支援事業		事業区分	技術開発、研究開発

## 1. 事業目的

本事業は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るために、官公庁及び民間企業において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及・促進に寄与するものである。

## 2. 事業実施体制

主 催: 北陸地方建設事業推進協議会 令和3年度「建設技術報告会」実行委員会

<構成23機関>

北陸地方整備局/新潟県/富山県/石川県/新潟市/東日本高速道路(株)新潟支社/中日本高速道路(株)金沢支社/(一社)日本建設業連合会北陸支部/(一社)日本道路建設業協会北陸支部/(一社)新潟県建設業協会/(一社)富山県建設業協会/(一社)石川県建設業協会/(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部/(一社)日本建設機械施工協会北陸支部/(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会/(一社)プレストレス・コンクリート建設業協会北陸支部/北陸PC防雪技術協会/(一社)新潟県融雪技術協会/(一財)新潟県建設技術センター/北陸地質調査業協会/(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部/(一社)北陸地域づくり協会/(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所

## 3. 事業実施概要

\* 新型コロナウイルス感染拡大防止のためWebで開催

日 時: 令和5年1月18日(水) ~ 1月31日(火) (土日を除く10日間)

プログラム:

・技術報告

- 6テーマ ①i-constructionによる生産性向上、インフラ分野のDX
- ②社会資本の的確な維持管理・更新 ③雪に強い地域づくり
- ④自然災害からの安全確保 ⑤環境の保全と創造 ⑥その他

24課題の技術報告

(オンデマンド配信23課題、論文掲載のみ1課題)

視聴費: 無料

参加者: 申込 1,001名、視聴 860名

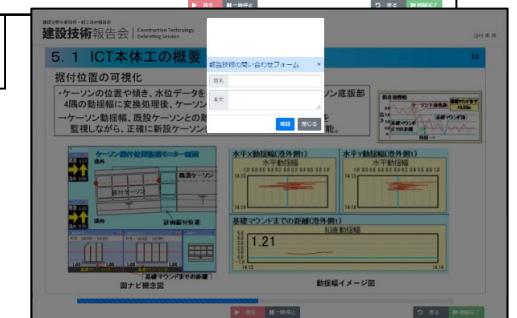
## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

本報告会は、研究開発技術の普及を図ることを目的に平成7年度より毎年開催しており、今回で27回目となる。厳しい社会経済情勢から、品質の確保及びこれまで以上に効率的かつ効果的に進めることができないところでは、そのためには新技術・新工法の活用・普及が重要課題である。

例年、会場を設け集会型で行っているが、今回はR2, 3に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のためWebでの開催となったものの、多くの視聴者を集め、新技術・新工法への関心の高さがうかがえた。

順位	テーマ	発表者氏名	所属
1	① ダムシングル式遮断堤(フレアーベンコ)の開発	山下 一基	清水建設株式会社
2	近畿地方における橋梁等の耐震化システムの導入について	小野寺 光	新潟県
3	トランクアンダーライナーの世界最高シームレス鋼管	和木 裕介	西日本建設株式会社
4	トランクアンダーライナーの開発と実績	松岡 伸仁	石川県立工業高等専門学校
5	ターミナル駅付近のCT加工について	吉 雄	国土交通省 北陸地方整備局 富山港湾部
6	透析プロトコルとしUNV選定	西 伝人	丘岸建設株式会社
7	透析プロトコルのアリターム操作シミュレーション	三井 朋	株式会社不動プロ
8	5Gを用いた遠隔操縦システムの構築	船川 雄史	株式会社大通組
9	ブリッジ式荷役装置「Head bar」(ジョイント)	川口 亮生	大通建設株式会社
10	造港施設における荷役作業工法「5-Layer」の開発	和木 伸	大通建設株式会社
11	桂分野で着工した「アーチの街」適用による陸上構工事の適用	高田 伸吾	株式会社日立造船
12	第2会場を有した複数アリターム構造の開発	和木 伸人	宇都宮第二工務株式会社
13	データ収集・分析による施工工法の開発	吉川 宏	宇都宮第二工務株式会社
14	ICT技術による作業実績を分析して各タスクの進行状況	和泉 勝	株式会社セラヴィテック
15	複数会場のデータ連携による、着工・土木天端型安否会員登録の開発	中野 一士	北川リバーテック株式会社
16	FFP1ループ・ファンクション・バイ・ブレーキの開発と運転制御装置	藤原 伸太郎	株式会社日立アート
17	送油式ガス充填装置の構造の開発	和 伸郎	株式会社ワグリック
18	3D測量法による山地融雪地帯監視カメラによる監視装置の開発	船井 芳介	株式会社ソリューションズ
19	多機能搬送車両の開発と運用	野出 小介	宇都宮第二工務株式会社
20	直ブリッジ式をモチーフした斜張橋の開発	西園 伸太郎	北川リバーテック株式会社
21	作業船へのAI搭載の開発について	山岸 大輔	宇都宮第二工務株式会社
22	笠置や竹原の防雪壁を削除して、JR大糸線海苔吹雪技術「海水土手」の開発	井上 真衣	株式会社セラヴィテック
23	東海汽船が開発したAIによる交通事故対応システムの紹介	瀬戸 明彦	株式会社日立建設

プログラム画面



視聴画面